

みすゞ

2026
CALENDAR
Misuzu Kaneko
Illustration, Shingo Ozaki



金子みすゞ (1903-1930) / 本名、金千代。
明治36年(1903年)山口県大津郡仙崎村(現在の
山口県長門市仙崎)生まれ。大正12年頃(20歳の
時)から詩を書き始め、金子みすゞのペンネームで
雑誌に投稿。大正末期、西條八十に「若き童謡詩
人の中の巨星」と称賛されたが、26歳の若さでこ
の世を去ったため、43の童謡詩人と語り継がれて
いた。1982年、3冊の童謡集が発見され、世に
知られる。その後しだいに知られた詩句の数は、今
大きな感動をもって、人々の心に広がり続けている。